

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24220010	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	体液恒常性を司る脳内機構の研究	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	野田 昌晴（基礎生物学研究所・ 統合神経生物学研究部門・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる	
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

体液調節の理論構築など、独自の研究領域を開拓していることは評価できる。Na⁺調節に関しては、Nax による Na⁺感知とエンドセリンの作用などを明らかにし、食塩欠乏時の食塩欲求行動などに対する AT1a 発現神経細胞の関与とその投射部位の同定などの研究の進展が見られる。一方、浸透圧センサーに関しては、現時点では遅れが認められる。しかし、ターゲット分子が見いだされれば、研究期間内に目的を達成する可能性はあり、これら一連の研究から、生理学的意義の大きい結果が期待できる。